

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		1つのフロアで見渡すことができるが、個別のスペースも確保ができています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		利用される方の増加に伴い増員していく
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		室内はバリアフリーとなっている。 雨の日等の外階段の安全配慮を行っていく
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		月1回の職員会議を開催し、目標に対しての振り返りを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		HPにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	法人内で内部監査(年2回)実施し、その結果を業務改善につなげている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		事業所、法人全体での研修の実施、外部研修の参加を行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		アセスメント様式を使用し、毎年アセスメント見直しを行っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		1日利用時には外出行事や買い物体験等を取り入れ、カリキュラムを作成している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		ミーティングにて職員間で周知している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		支援記録を記入し、PC上でケース記録入力も行っている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者が担当者会議に参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		学校からの受入時に担任教諭より、申し送りを受けたり、電話連絡、文書連絡にて対応している。定期的に事業所の活動通信を発送している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		主治医との連絡はとっていないが保護者から医師の指示は受けて支援を行っている
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		現在は相談支援事業所のみとの情報共有だけあるが必要に応じて対応出来る。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		多機能事業所として就労支援事業所のご利用者との交流はある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		必要に応じ保護者と面談を行うほか、LINEを活用し、タイムリーに連絡を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		ペアレント・トレーニング等の研修参加等を積極的に行っていく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約書、重要事項説明書、個別支援計画書、利用料金表にて説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		現在法人として生活介護事業の保護者かいである「友の会」は存在しているが、放課後等デイサービスとしての保護者会は存在しない。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情受付について契約時に説明している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		ブログの更新や次月の活動予定を書面にて連絡し参加の確認を行っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報の管理は、施設の棚にてPC上ではパスワード等にて管理している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		必要に応じ写真や絵カードにて伝達ツールを活用している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		法人内で毎年大きなイベントを行って地域住民等にご案内している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		マニュアルは策定しており、職員は周知しているが保護者には周知していない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎年、館内で消防立ち会いの訓練をしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		法人内でも館内での虐待研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		現状、やむを得ず身体拘束することはない。 やむを得ず実施する必要がある場合は、ケース会議等で確認し、保護者との協議も実施する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		利用開始前に確認し、対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット提出は毎朝のミーティングにて周知している。